

柳營日記記

延寶六 戊午年

正月

朔日 晴 天北風

辰下刻御黒書院 出御

御太刀

酒井老岐守

御靱

土岐伊与守

甲府宰相殿

館林宰相殿

右 御對顔御太刀目錄酒井河内守披露之則着座

御吸物出^ル 御一献有之御服臺^ニ 拝領之

御白書院 渡御

尾張中納言殿

紀伊殿名代

水野對馬守

水戸殿名代

中山備前守

右御礼終^ニ 御太刀目錄河内守披露畢^ニ 次^ニ

松平加賀守

松平相模守

右太刀目錄持參御礼

尾張殿

加賀守

相模守

右三輩着座御吸物出し御一献有之各呉服臺

拝領之御規式如例畢^ニ 次^ニ

松平左京大夫

松平摂津守

松平出雲守

酒井雅楽頭

大沢兵部太輔

松平三河守

松平刑部太輔

松平播磨守

松平但馬守

藤堂和泉守

松平讚岐守

松平大和守

井伊玄蕃頭

松平豊後守

稲葉美濃守

久世大和守

土屋但馬守

酒井河内守

松平中務太輔

松平飛騨守

松平若狹守

松平大學頭

小笠原遠江守

松平遠江守

大久保加賀守

右老人宛太刀目錄持參御礼御盃頂戴呉服廣蓋^ニ

拝領之終^ニ 次^ニ 大廊下^ニ

御詰衆

諸番頭

諸物頭

右 太刀目錄前^ニ 置一同御礼

大廣間 渡御松平和泉守始諸大夫之面々法印

法眼無官之高家御両典御三人方家老御流御服頂

戴之三千石以上寄合太刀目錄前^ニ 置一同御礼申上

之御番衆御同朋迄御流頂戴之

入御之節久志本一家儒者呉服所御扶助之諸職人進物

前^ニ 置一同御礼申上之

今日御祝儀相勸高家 入御已後御服臺^ニ 拝領所

謂面々

吉良上野介

大沢右京大夫

織田主計頭

畠山下總守

上秋伊勢守

一 在國在所又は長病之面々以名代太刀目錄進上之老

中列座也南方秋元撰津守北方松平備前守居之

披露之所謂面々

松平越後守

保科筑前守

松平伯耆守

松平越前守

松平下總守

戸田越前守

松平大藏太輔

松平右近大夫

青山因幡守

松平遠江守

右之外諸大夫之面々都合七拾老人也

二日晴朝雷少々即時止

辰后刻御黒書院 出御

御太刀 内藤上野介

御靱 米津周防守

右御太刀目錄河内守披露之御一献有之呉服臺^ニ

拝領之

御白書院 出御

紀伊中将殿

水戸少将殿

荒川三弥

右御太刀目錄河内守披露之御一献有之呉服臺^ニ

拝領之畢^ニ 次^ニ

松平左兵衛督

同 近江守

右太刀目錄持參御礼御盃頂戴呉服臺^ニ 拝領之

大廣間 渡御

松平丹後守

宗 對馬守

松平出羽守

松平阿波守

上秋彈正大弼

右老人宛太刀目録持參御札則着座御盃頂戴吳服
臺^二而^一 拝領之畢^而次^二

有馬中務太輔

織田伊豆守

丹羽若狹守

松平肥前守

右順々太刀目録持參御札吳服臺^二而^一 拝領之御盃頂戴

之畢^而次^二 中川佐渡守始國家諸大夫之面々御流頂戴

之吳服拝領之三千石以上之面々太刀目録を以御札御

番衆迄御流頂戴之

入御之節無官之醫師進物前^二置御札申上之^一

在國在所長病之面々太刀目録以名代進物進上之

老中列座南方松平備前守北方秋元撰津守居之披

露之所謂

松平大隅守

松平陸奥守

松平大膳大夫

細川越中守

松平伊豫守

松平右衛門佐

松平薩摩守

丹羽左京大夫

織田山城守

松平土佐守

佐竹右京大夫

松平安藝守

織田内記

毛利甲斐守

立花飛騨守

松平信濃守

森 伯耆守

南部大膳大夫

右之外國家之諸大夫之面々都合三十老人也

三日 快晴

辰后刻御白書院 出御

御劍

土岐伊与守
松平元千代

右太刀目録持參御札畢^而無官之面々太刀目録前

置之一同御札其後復座

榊原式部太輔

奥平小次郎

井伊伯耆守

右三人家老太刀目録前置之一同御札申上之

所々町人銀座朱座大黒屋當地救多御札申上

之

入御之節

本多美濃守

高木伊勢守

小笠原丹齋

岩松小治郎

右之面々御札申上之

御兵法御遣始有之^二付被下物^一

時服^三

御馬御召初有之^二付被下物^一

時服^三

同^二ニ^一

辰刻就御謠初大廣間 渡御中段着座下段着座

御劍

渡辺安藝守

尾張中納言殿

右は御次之間^江着座也南方松平和泉守北方本多越前守

御引渡出之御祝有之御規式如例年

松平讚岐守

藤堂和泉守

井伊玄蕃頭

松平出羽守

右之面々御盃被下之其外

有馬中務太輔

丹羽若狹守

松平隱岐守

御譜代衆

御詰衆

諸番頭

諸物頭

諸役人等

右如例出座也御通頂戴之御拍子在之

老 松 ^{觀世} 市郎兵衛 ^{又右衛門} 市右衛門

東 北 ^{金春} 九郎兵衛 ^{新十郎} 八郎右衛門

高 砂 ^{七大夫} 三郎右衛門 ^{長右衛門} 長藏

弓矢立合 ^{三大夫舞之} 介右衛門 ^{清五郎} 忠次郎

今晚進上之臺河内守披露之

甲府宰相殿

館林宰相殿

尾張中納言殿

紀伊中納言殿

水戸宰相殿

松平加賀守

松平大隅守

松平相模守

松平左京大夫

松平大膳大夫

松平但馬守

松平讚岐守

松平丹後守

宗 對馬守

伊達遠江守

藤堂和泉守

松平大和守

松平阿波守

井伊玄蕃頭

上秋彈正大弼

松平出羽守

松平中務太輔

松平飛騨守
有馬中務太輔
小笠原遠江守
松平隱岐守
稻葉美濃守
久世大和守
土屋但馬守
酒井修理大夫
大久保加賀守
酒井河内守
同 雅楽頭

四日 陰晴

昨夜御謠初之節乗物下馬^ニ岡野孫九郎六尺悪口之儀^ニ付老人篋舎被仰付之依之孫九郎事當分逼塞仕候

五日 晴

無記事
辰后刻御白書院 出御
御太刀
御劔
御太刀目録
御太刀目録

内藤上野介
神尾飛騨守
知恩院門跡
三束二巻
御札吉良上野介披露之
増上寺方丈

右下段^ニ御札酒井河内守披露之則方丈着座御札之次第
東卷
同
東本ツ

傳通院
大光院
宝松院
崇源院殿別當
最勝院

西種
天徳寺
同
大養寺
馬口旁
本誓寺
浅草
誓願寺
増上寺之役者
良家
白玄
同
廣度院
御仏殿役者
林松院
源興院
知門院家
覺了院
金地院
品川
東海寺

右一束一本御札畢^ニ次^ニ
大廣間 渡御遠國寺社独礼之分は 出御以前^ニ下段^ニ並居社人山伏は板掾^ニ並居進上物前^ニ置一
同御礼右之寺社退去也内は御納戸構^江被為 入重^ニ下段^江 立御間之襖障子明之惣寺社如例年一同御礼申上之

一
入御之節 御白書院於御次之間千人頭伊勢春木太夫山本太夫鞍工伊勢因幡庄田隼人徳川万徳寺右進物前^ニ置一同御礼申上之

知門坊官
國民部卿
同僚人
梅嶋頼母
角田伊織

右三人進物前^ニ置平伏
淨土宗 三十四ヶ寺
天台宗 三十ヶ寺
真言宗 四十二ヶ寺
濟家 三十五ヶ寺
洞家 十ヶ寺
日蓮宗 廿五ヶ寺
一向宗 七ヶ寺
時宗 二ヶ寺
社人 廿三人
山伏先達 三人

傳通院
大光院
宝松院
崇源院殿別當
最勝院

一 今日御規式之内大廣間四ノ間^ニ天御番百人烏帽子素袍勤之

七日 快午后刻^ノ風

御黒書院 出御七種之雨御祝儀御連枝方登 城也
御目見次^ニ旧職官位之御礼^ニ面々

金馬代ツ
同
松平隱岐守
大久保加賀守
榊原式部太輔
本多飛騨守
永井伊賀守
山内大膳亮
五嶋飛騨守
桑山美作守
山口修理亮
本多能登守
中川因幡守
永井日向守
秋月山城守
嶋田越中守

銀馬代ツ
同
森 内記
酒井左衛門尉
細川豊前守
堀田下総守
大沢右京大夫
上杉伊勢守
青山大膳亮

右次^ニ年始之御礼

金馬代ツ
銀馬代ツ
日光十七日 御名代
同所廿日 御名代

右之通可被遣之旨被 仰付之

八日 快晴
寅上刻京橋式丁目横町老丁程焼失夜明方静^ル

無事
九日 曇北風
千代姫君様

右如例年大奥^江御入御迎大久保平左衛門被遣之

奥 八丈嶋三十反伽羅一木被遣之

奥 狩野永真紅裏時ふく三被下之養朴同二洞雲白周二

探信同二右御絵初^三付被下之

十日 晴北風烈

午后刻^六四谷伊賀丁^六出火風烈麻布新堀邊まで焼

失

一 右火事依為近所[△]紀伊殿[△]火移[△]為御見舞雄

使番被遣為御礼中將殿登 城 仰付之面々

一 火事風烈付^面難鎮之間令消之旨被

阿部美作守 永井信濃守 板倉隠岐守 亀井能登守

松平和泉守 京極備中守

奥 増山仙光院^三縮緬甘卷伽羅百目被下之

十一日

巳后刻御黒書院 出御如例年御具足之御祝在之

堀 山城守

松平讚岐守

井伊玄蕃頭

松平出羽守

御譜代衆

御詰衆

右 御目見在之畢^面右之面々^并諸番頭諸物頭諸役人等御餅御酒被下之

御連歌有之

松か元や御して知る千代^奥の春 昌陸

若木の梅の咲出る庭 御

此殿の門ひろくなる雪解^て? 昌純

いさめる馬を引つる庭 其阿

狩ころもすには秋のいろいろに 昌英

はれくもりぬる夕霧の山 昌輪

月すめと處のしくれの一通り 信祐

羽かせ聞^へ? 馬の行雲 時白

真砂地の鷺や眠を覚すらし 好時

人かよふなりすえの茅原

さす船の道はうらよわ浦かけて

あしたの波や浮いたるらん

於 御前御役替被 仰付面々

大御番頭 土屋兵部少輔 御旗奉行 大久保四郎左衛門跡

御鉄砲頭 安藤九郎左衛門跡 御小姓組与頭 宮崎織部後

右之通被 仰付之

一 年始之御礼罷出晝御暇

銀十枚 内宮長官代 中川伯耆

同 外宮長官代 松垣右兵衛

銀十枚 内宮年寄 土屋左京

同 山田三方惣代 久保倉助丞

同 外宮 春木太夫

時服二 内宮 山本太夫

同 山崎社家 河原崎内記

同 上京年寄 神田了信

同 同所惣代 山内清兵衛

同 下京年寄 松原長右衛門

同 同所惣代 安原宥庵

同 大坂年寄 石垣市右衛門

同 同所惣代 中井与兵衛

同 伏見屋間右衛門

同 金屋与右衛門

同 同所惣代 森本茂兵衛

同 同所惣代 山田作右衛門

同 同所惣代 阿賀屋九郎右衛門

同 同所惣代 藤井道仙

同 同所惣代 梅田市兵衛

同 同所惣代 半田理介

同 同所惣代 藤田市郎右衛門

同 同所惣代 岡本兵左衛門

同 同所惣代 上田三郎右衛門

同 同所惣代 増池彦兵衛

清長

昌頼

執筆

於

水野周防守 安藤九郎左衛門 宮崎織部 池田常刀組頭 小倉組 加藤源左衛門

十二日 晴 嵐風吹

於評定所式日寄合始有之久世大和守

京都^江御暇

大沢右京太夫

右被下之

黄金十枚 時服三羽折

上秋伊勢守 青山大膳亮

右日光^江御いとま被下之

一 国許^江使者之面々

時服五

水野對馬守 水戸殿使者 中山市正 尾張中將殿使者 荒川三彌

同 三

一 二條若君^江御字依被遣之真之御太刀 国行代金十五枚 井御馬代銀百枚

時服十 光平^江 女五宮^江 三種二荷

右之通石京大夫令持參之

一 醫師玄徹針立友仙事永々在京辛身仕付^三御褒美被下之

小判百兩 玄徹 黄金十枚 友仙

十三日 晴

尾張殿^江年始之為振舞老中不残被相越

十四日 晴 嵐風吹 辰刻地震

申后刻青山筋焼失西后刻静^ル 奥 甲府殿長屋へ火移

一 紀伊中納言殿簾中今日御奥^江入奥為迎筒井内藏被遣之 奥 御息女^三纏珠五卷被遣之

一 權田原火事之節は稲葉右京亮水谷左京亮岡部内膳正相越可消之旨以切紙達之

十五日 晴

如例月諸大名出仕御礼有之
年頭之御礼

金馬代
肥前守事
酒井修理太夫
本多肥後守
京極備後守

右御礼畢次寺社御礼

御礼
山王別當
觀理院
同所神主
日吉大膳
柴崎宮内
寶臺院
清見寺
平田寺
東觀音寺
足利学校

右老人宛以進物御礼畢遠國之寺社教輩一同御礼申上之

銀馬代 年始
千代姫君孫御安老
本間五郎左衛門
江川太郎左衛門

右 御目見御礼申上之
遠國寺社御暇被下之面々

時服二
高野山行人方惣代
愛染院
醍醐惣代
櫻坊
伊勢朝熊
金剛證寺使
高野三十六院惣代
講坊
同所
宝藏院

一 甲府殿年頭之為振舞老中不残被相越也
一 水戸殿使者松平主税 御目見
千代姫君 猩々緋五間色羅紗紫白黒黄被下之

十六日 雨知后刻地震

大御番頭
水野周防守

右組中引渡在之
御暇
御小姓組与頭
加藤源左衛門
松平主税

右被下之

十七日 晴

辰后刻紅葉山 御參詣
御膳 御先達共
酒井河内守
小笠原遠江守
米津周防守
能勢撰津守
吉良上野介
畠山下總守
太田撰津守
内藤和泉守

此外御近習諸太夫面々如例年供奉之行列

一 尾張中納言殿水戸少將殿 御對顔
一 美濃守大和守但馬守加賀守与參
一 土井能登守堀田備中守石川美作守供奉
一 還御後甲府殿御父子參詣館林殿は所勞ニ付無其儀
一 御參詣相濟候付如令御一門方より使者差上らる
一 奥津因酒井左衛門尉松平隠岐守禰原式部大輔奥平小次郎

十八日 陰未刻雨

大坂御目付代
奥田八郎右衛門
近藤五左衛門

右被 仰付之

京極備中守
浅野式部少輔
水谷左京亮
稲葉右京亮

右四人風烈之節若出火之刻一左右次第其場へ罷越可消之面々屋敷近所火事之節は下知不相待罷

越可消之旨被 仰付候且又津輕越中守事火元正は火消之役人可罷出旨駿河臺猿樂丁邊飛火を為消可申旨被 仰付之
一 小石川本郷筋火事之節火消役人は火元正可罷越之
條駿河臺猿樂町邊相越飛火可消之旨津輕越中守へ是又以短帚老中達之

一 天樹院殿十三回忌ニ付御法事於傳通院来月御執行ニ付
板倉石見守
大久保山城守
徳山五兵衛

右御法事奉行被 仰付也

昨廿日 上野御參詣可被遊旨御供觸五ツ時也
岡野孫九郎
右は長崎御用之儀在之旨從老中手紙来今日登城也
一 社人御暇
國造名代 富士北室
竹下權之丞 三浦内記

廿日 晴
辰下刻上野江 御參詣也

御廉
御太刀
御刀
御香
御供
御留守
吉良上野介
畠山下總守
内藤上野介
渡邊安藝守
土井能登守
松平因幡守
石川美作守
土屋但馬守
堀田備中守
内藤若狭守
御留守居衆

一 雅楽頭美濃守大和守加賀守与參
一 御先立 酒井河内守
一 尾張中納言殿水戸少將殿陪拜

一 宝樹院殿御堂^{江も} 御参詣
一 還御後甲府殿御父子参詣

日光埴

上杵伊勢守

右登城 御目見也

一 還御以後御一門方四品以上之諸大名を使者被差上之

一 明廿一日西丸^江可被為 成旨御供觸四^ッ時

廿一日 南風

時服四

御暇 駿府 宝臺院

右御いとま^二付被下之

一 午刻西丸^江被為 成

堀田備中守
内藤若狭守
松平因幡守

御留守

天樹院殿御法事^二付

野村彦太夫

右之通被 仰付之

奥山里^二稲垣備後守組大久保豊前守組三枝摂津守組

乗馬 上覧

廿二日 陰南風烈

於評定所式日寄合稲葉美濃守

一 從女院御所為年頭之御祝儀長坂新右衛門を以品々被遣之

一 稲垣信濃守去頃差合付^画今日以使者年始御祝儀

太刀目録差上之

廿三日

御前^二而所替被仰付之面々

大久保加賀守

松平和泉守

一 明廿四日増上寺へ被為 成旨御供觸五^ッ時

一 女院御所より如恒例為年頭御祝儀御使長坂新右衛門を

以御書^手御祈禱之御礼白銀十枚女五宮より御樽代千疋

御香一種進せらる

廿四日 曇巳申刻より雨未刻止

辰刻増上寺御参詣供奉行列

御長柄御簾

御太刀

御刀

御香

御先御供

御先御供

老中

堀田備中守

石川美作守

内藤若狭守

久世大和守

土井能登守

松平因幡守

御留守居衆

御先へ参上

堀田備中守内藤若狭守供奉石川美作守^ハ御先へ参上

一 尾中納言殿水少将殿陪拜

一 増上寺方丈詮雄拜迎

一 崇源院殿御霊屋^{江も} 御参詣

一 雅楽頭美濃守但馬守加賀守御先^江参上

奥方丈^二御盃事有之御菓子献上之

一 還御已後御三人方より為伺御機嫌使者被差上之

御座之間

日光埴

青山大膳亮

右 御目見

一 知門病痾^二付今日不及 御對顔仍為上使上杵伊勢守

被遣之

一日門日光山より掃寺^二付上使晶山下総守被遣之

廿五日 陰夜^二入雨

久世大和守

城無之

廿六日 晴風夜^二入雨止

御役替被 仰付之面々

四百石

御加増

千俵

御役料

右同断

元永井左衛門守組存願

須田与左衛門

右両人大坂御船手被仰付之

久世大和守

右は娘差合^二付無登 城是^ハ松平山城守妻今晚

死去也

一 黄金式拾枚狩野永真^江被下之去頃御絵被 仰付^二付

奥御手鑑

一 大久保加賀守所替付^画金三万拜借被 仰付之

而也

廿七日 晴風

上使米津同防守

久世大和守

右は娘死去 付被遣也

大久保加賀守

右願之通被 仰付之

永井佐渡守

右は頃日母死去也

廿八日 晴

水戸少将殿

病後御礼

松平大膳太夫

箱香

銀馬代

次^二年始之御礼

加藤遠江守

次^二新田高結被下御礼

加藤寛十郎

時服三

金馬代

年頭之御礼

水谷左京亮

大刀目録

次^二遠国之出家御礼

松平頼母

寺家宰相

梶井御門御使番

東卷
同所
三東一巻
東本
二東一巻
八幡
豐藏坊

三州
同所
三井寺
松應寺
大樹寺
可睡齋
久遠寺
豐藏坊

右老人 進物を以御礼此外遠國之寺社數十輩
一同御礼申上之

一年始之御規式首尾能相濟付
火事之節御簾中_并中將殿_江上使被遣之付

一年始之御規式首尾能相濟付
日光御門跡へ上使以畠山下総守銀百枚時服五被遣之當月
御祈禱料也

廿九日 晴

小普請
大久保右京亮組清大夫子
永井清太夫
伊丹主税
市川藤左衛門
石丸左兵衛
朝比奈源右衛門
横山五郎大夫
中嶋三左衛門

植村土佐守組へ入
酒井伊与守組へ入
右七人大御番_江入番被 仰付之

三十日 晴大風

女院御祈御使
長坂新右衛門
関根七右衛門
山口善右衛門
松平源五左衛門
寺家宰相

右順々御暇被下之

柳宮日記記
延宝六_{戊午}年
二月

朔日晴
已后刻御白書院 渡御日光久能御鏡 御頂戴之
御太刀
御劔
三東一巻
太刀目録
二東老巻
御札
二東老巻

御劔
三東一巻
太刀目録
二東老巻
御札
二東老巻

一東一巻
ツ
卷數

東巻ツ
東本尤

右御礼畢_而御次之間_{ニテ}天台之出家日光社家_并
山口忠兵衛
田村權右衛門
家_人

御宮
坊主衆
樂人

土岐伊与守
米津周防守

日光御門跡
渡邊木工允
山門惣代

凌雲院
知樂院
修學院
長樂寺
宗光院

勸修院
信成院
實證院
喜多院
護国院

德音院
寒松院
吉祥院
常徳院
東漸院

瀧山寺
松高院
保福寺
延命院

上野日代
日光御門主
野沢縫殿

右進物並置之一同御礼
水戸少將殿使者
太田原傳内

東圓院
津梁院
現龍院
松林院
修禪院
明王院
元光院
明靜院
福聚院
圓珠院
真如院
常照院
宝勝院
一乘院
林光院
妙壽院
天王寺惣代
一舍利
越後五智
花藏院
信州善光寺大願進
代僧

右從鷹場被差上之
三井寺惣代
法幢坊
同所神人惣代
小川与兵衛
萬福寺
使僧

二日晴
明三_日西丸_江可被為 成宗御供揃四ツ時
神社御暇之面々

日光社家
加藤神主
東叡山社家
大森主水

日光社家
道入 宗悦 宗清

日光社家
加藤神主
東叡山社家
大森主水

時服二ツ

同宅
愛宕長床坊
使僧
上使水野長門守
水戸少將殿
右鷹場江以上使被遣之
御鷹一居

三日晴
午刻西丸へ渡御
土井能登守
石川美作守
松平因幡守
鳥居瀬兵衛

御留守
水戸少將殿使者
上使被下候御礼
水野長門守
松平内蔵介
原田利齋

右は鷹場へ
上使被下候御礼
水野長門守
松平内蔵介
原田利齋

右於 御座之間 御目見
松平内蔵介
原田利齋

右兩人宇治江被遣候旨被 仰付之
松平丹波守

右は老母痘瘡大切ニ付平賀玄純療治可仕旨以
奉書被仰遣之
奥山里ニ乘馬 上覽 稲葉出羽守組武田越前守組
大原主膳正組

四日晴
於傳通院從昨夜御法事始ル依之式日寄合無之
久世大和守

右は忌 御免ニ付今日登 城
久世大和守

五日晴 別条無之
六日小雨
於傳通院御法事今日結願ニ付
稻葉美濃守

御香奠

白銀式百枚其外被下物有之
白銀三十枚
同二十枚ツツ

同十枚ツツ
同十枚ツツ

同五枚ツツ
同五枚ツツ

弘經寺

光明寺

大光院

新知恩寺

靈巖寺

雲光院

本誓寺

靈山寺

西福寺

天德寺

大養寺

誓願寺

御法事相濟候ニ付

右登 城 御目見
御法事相濟從御三人方使者被差上之
右病氣ニ付願之通御役 御免之旨

右兩人 老中傳之
水戸宰相使者佐野四郎右衛門御暇時服三被下之
小笠原山城守病氣大切ニ付伴佐渡守江病牀御尋其上
山城守常々役儀精出相勤候段 御懇之上意亦無油斷
養生可仕旨上意有之

七日曇
屋敷改之面々江役儀入精永々相勤ニ付御褒美被下之

御法事相濟候ニ付
板倉石見守
大久保山城守
徳山五兵衛

板倉石見守

大久保山城守

徳山五兵衛

板倉石見守

大久保山城守

徳山五兵衛

板倉石見守

大久保山城守

徳山五兵衛

板倉石見守

大久保山城守

徳山五兵衛

右之内善兵衛弥市郎儀御役御免代として

内藤上野介

板橋与五左衛門

柴田和榮守福

稻生七郎右衛門

右兩人被 仰付之

八日 曇甲后刻雷

来月公家衆参向^二付御馳走人被 仰付之

勅使 花山院前大納言

法皇 千種前大納言

本院使 梅小路前中納言

新院使 高倉前大納言

平松中納言

加藤遠江守

御前伊奈兵右衛門

南部遠江守

今井九右衛門

片桐主膳正

高屋明右衛門

同

三州

大樹寺

同所

松應寺

同

可睡齋

八幡

豐藏坊

伏見

御香宮神主

三木右京

水戸少將殿使者

酒井右衛門三郎

右鷹場^ハ使者を以進上之

三州吉田城主從五位下小笠原山城守源朝臣長頼旧冬

より病によりて卒す行年五十五歳是、故老岐守忠

知之男也

一 三州吉田城主從五位下小笠原山城守源朝臣長頼旧冬

より病によりて卒す行年五十五歳是、故老岐守忠

知之男也

九日 風雨數夜^ニ入雨止

新院使御馳走人

片桐主膳正

右被 仰付之

十日 曇北風

於傳通院御法事中相詰候面々に被下物

浅井平右衛門

勝屋甚五兵衛

野村彦太夫

河部六左衛門

御被官大工

松平丹波守

銀五枚

右は母卒去

一 土御門極蔭より巳日御威具調進之使者白井右京

一 大久保山城守組之岩下庄五郎御天守番被仰付之

十一日

明十二日西丸へ可被為 成旨御供觸有之

殿中無別条

十二日 晴

於評定所式日寄合有之土屋但馬守出座

御一門方国持大名^并兩本願寺家来殿中招之去年

暮之御内書相渡之右之使者へ如何時服^ニツツ被下之

銀五枚

右被下之

午刻西丸^江 渡御

御供

土井能登守

松平因幡守

秋元撰津守於屋敷前御奉^ニ馬老被為擬

於山里馬場稻葉出羽守組長井佐渡守組乘馬 上覽

御留守

石川美作守

御留守

十三日 曇夜^ニ入雨

上使吉良上野介

日光御門跡

右は 法皇姫宮靈鑑寺去^レ五日逝去^ニ付^而也

十四日 雨

内藤若狭守

右は忌 御免登 城

十五日 雨

如例月諸大名出仕御礼有之

鷹場掃之御礼

水戸少將殿

参勤之御礼

伊藤出雲守

年頭之御礼

知恩院方丈

使者

二 東老卷

銀三十枚

時服十

右は母卒去

一 土御門極蔭より巳日御威具調進之使者白井右京

一 大久保山城守組之根来五左衛門柴田和泉守組入被

仰付但御書院番也

十六日

京都深草

圓福寺

同所東福寺内

南明院

栗生

光明寺

竹生嶋

一 吉祥院

三州山中

法蔵寺

富士村山

大鏡坊

熊野山

竹坊

同所本宮

惣代

大佛養源院

使僧

風来寺字須

醫王院

老東老本

参府御礼

御札

大緒十條

御札

右之通被下之
時服三 御暇 寛 又藏

十七日 晴

紅葉山 御名代 大久保加賀守

明十八日西丸被為 成御供觸四ッ時

右被 仰付之

三好備前守

十八日 晴

右 上使を以被遣之 但日門御病氣之御尋也
尾張中將殿

右は去 十二日国元發足付奉書被遣之

館林殿 老中振舞被相越候

十九日 細雨

無記事

廿日 小雨

上野 御名代

久世大和守

廿一日 雨

右江府到着 付被遣之

御香奠 銀衣百枚

右は高田之御方天崇院殿七回忌付被遣之越後守在

国付右為御礼三河守登 城

御暇之寺院

德 音 院

山門惣代

知恩院方丈使

光明院

深草 圓 福 寺

醫 王 院

南 明 院

毘沙門堂使者 渡邊全之進

右之外遠国之寺社并連歌師如例年時服白銀等被下之

松高院

吉祥院

二階堂主膳

竹之坊

大善院使僧

昌陸

昌頓

宗傳

高木彦右衛門

廿二日 雨

式日寄合大和守出座

已刻於 御座之間參勤之御礼也

御黒書院へ 渡御

祝言相濟御礼

松平丹後守

伊東出雲守

三浦老岐守

松平大和守

京極甲斐守

初 御目見之面々

宗 右京

酒井与四郎

稻垣信濃守

土方備中守

水野伊与守

近藤平三郎

本多肥後守

植村土佐守

酒井伊与守

兩組頭八人

兩組中

土井周防守

酒井日向守

松平山城守

三浦志摩守

阿部伊与守

那須遠江守

内田出羽守

伊丹大隅守

大久保甚兵衛

成瀬豊前守

中村又藏

荒川三弥

横井十郎左衛門

廿三日

無記事

廿四日 晴風

増上寺 御名代

土屋但馬守

廿五日 伏

明廿六日麻布筋御鷹野可被為 成旨御供觸五ッ時之由

時之由

小納戸衆
大久保孫兵衛

右は昨夜死去

一 増山兵部少輔西尾隠岐守事紅葉山 御宮火之番被 仰付是
三浦志摩守那須遠江守在所御暇^ニ付代之

廿六日 快

辰后刻麻生筋^江御鷹野渡御 御供御留守居如例
御物数三十四之内

御拳^ニ而 真馬 壺
脇鷹^ニ而 真馬 九 白馬 六
真鴨 壺 小鴨 九 雑鴨 壺
水礼 壺

廿七日 晴

女院御所^江

昨日御存之
御拳之鷹

右以駅次被進之

上使酒井忠成守
甲 府 殿
館 林 殿^江

右被遣之

馬^二

右女中をもつて被遣之

上使稲葉美濃守
水戸宰相殿
千代姫君^江

右は昨日江府到着^ニ付上使被遣候

尾張中将殿

右使者をもつて被差上之
明廿八日水戸殿参勤之御礼其外之衆有之^ニ付例月
之出仕無之

廿八日 晴

巳后刻於 御座之間

参勤之御礼
水戸宰相殿

御黒書院 渡御御暇今刻 上使之御礼
御手自製斗 御手自製斗
振燭式千挺 砲被遣之
銀三百枚
銀五百枚
御馬老定
御馬老定

上使大久保加賀守
松平丹後守

銀三百枚

時服三十

御馬老定

御鷹一居

御馬老定

時服三十

御馬老定

銀五十枚

時服十

高資金代

時服五

黄金十枚

時服五

御鷹一居

御馬老定

銀馬代

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

上使土屋但馬守

宗 對馬守

松平讚岐守

小笠原遠江守

黒田甲斐守

大久保加賀守

松平和泉守

桑山美濃守

初^而御礼

初見

柳當日次記

延寶六^{戊午}年

三月

朔日 晴

例月のごとく諸大名出仕有之

継目之御礼

三束老卷

年頭之御礼

一束一巻^ツ

一束一巻

多賀 尊勝院

高野学侶方 北室院

同行方 祥嚴院

八幡山 田中法印

宇佐神主 宮成弾正

加藤佐兵衛

須田与左衛門

水野甚五左衛門

高野学侶 竜光院

同行方 赤松院

能登 總持寺使僧

遠州 蒲檢校

愛宕威徳院使僧

奥 高野 龍光院

時服四 同式 赤松院

大澤右京大夫

米津周防守

甲府宰相殿

京都帰

辰下刻御黒書院 出御

御刀

三日 晴

二日

殿中無別条

右 御對顏御白書院 渡御

館林宰相殿
甲府中將殿

尾張中納言殿

水戸宰相殿

尾張中將殿

水戸少將殿

松平左兵衛督

松平近江守

右 御目見在之大廣間 渡御

松平加賀守

松平相模守

松平左京大夫

松平摂津守

松平出雲守

伊達遠江守

松平大和守

松平阿波守

松平出羽守

松平豊後守

松平中務太輔

有馬中務太輔

織田伊豆守

松平若狭守

丹羽若狭守

松平肥前守

松平隱岐守

酒井左衛門尉

右 右老^{ツツ} 御札畢^面 松平和泉守始諸大名式人三人

四五人^{ツツ} 出座 御目見其外如例年諸御礼有之

四日晴

於評定所式日寄合加賀守出座

屏風一雙并一異毛
山家之五位鷹

水戸殿

右為御土産以使者被差上之
今朝

院使 院使參向^二付為上使雅楽頭吉良上野
介被遣之

一 大井御門内大臣徳大寺前内大臣^江 上使大沢兵部大輔

被遣之

一 本多肥後守水口在番就被 仰付奉書渡之

五日

大坂加番被仰付面々

堀 左京亮

三宅能登守

酒井石見守

本多彈正忠

右何も在所^ニ在之^ニ付以奉書被遣之

六日

御役替被 仰付之面^{（日記記は面々）}

御膳奉行 野々山弥兵衛^江 天野六郎左衛門

二条御裏御門番 水野甚五左衛門^江 坪内藤七郎

御鳥見頭 大平角介^江 幡野市郎兵衛

御歩行頭 松平新五左衛門組組頭^へ 大場佐治右衛門

御款客屋与頭 鈴木宗清^江 原田宗馭

七日晴

御太刀

御刀

内藤上野介

米津周防守

已刻御白書院 渡御

勅使 院使 御對顏

禁裏より

法皇より

本院^々

同断

新院^々

御太刀目録
黄金壹枚

女院^々

黄金十兩

女御^々

同断

一年頭之御礼以使者申上面々

各太刀目録^{ツツ}

鷹司関白殿

近衛左大臣殿

一条右大臣殿

二条前撰政殿

照光院御門跡

青蓮院御門跡

勾當内侍

次^ニ自分之御礼

大太刀目録^{ツツ}

紗綾三卷

次^ニ自分之御礼

應司殿使者

廣庭中務少輔

近衛殿使者

近藤修理亮

保田内匠頭

中川左京權大夫

照高院宮使僧

近藤宮内卿

青蓮院宮使僧

大谷民部卿

大炊御門家老

橋本越後守

徳大寺家老

物加波對馬守

花山院家老

松山石見守

石川隼人正

千種家老

田付主水

花山院前大納言

千種前大納言

高倉前大納言

梅小路中納言

平松中納言

本院使

法皇使

新院使

御東家師
豐田志摩

右進物前^二置拝伏

大刀目録
紗綾五卷

次^二繼目之御札

和州内山
上乘院

右畢^而撰家門跡方使者^而傳奏家来大炊御門德大寺家

来樂人惣代御装束師御冠師以進物一同御札畢^而於御

勝手

大椿二筋
卷敷

右使者 御目見献上之

吉田傳使
使者
大角外記

八日晴

一荷
一種鶴

上使大沢兵部大輔
勅使
院使
島山下總守
大炊御門
内府
德大寺

右 上使を以被遣之

九日小雨

明十日公家衆御馳走御能被仰付之高家 上使被遣之
其外御連枝方 上使被遣之
上使大沢右京大夫
勅使
院使

甲府殿
同 中將殿
同 林殿
同 張殿
尾張殿
上使柴田和泉守
同 中將殿
水戸殿
上使稲垣備後守
同 少將殿
紀伊中將殿

同藏田主計頭
内府

十日曇已刻^レ風晴

辰上刻大廣間^江 渡御御能被 仰付之

公家衆 御對顔次^二

大炊御門内府
德大寺前内府

右登 城御能見物御能三番過御中入猿樂^江要脚
廣蓋如例年被下之公家衆^并御連枝方御振舞在之

御能始 酒井河内守

具服渡 同人

御能組

式三番

高砂 金春 權右衛門
頼政 七大夫 源七郎
東北 宝生 權右衛門
紅葉狩 金春 同人
祝言 三郎次郎 源七郎

八幡の前 仁右衛門

通圓 弥太郎

空穂猿 傳右衛門

一 三番過休息御茶御菓子餅御吸物御酒出御饗應之節以美濃
守悠々可有勅盃旨被仰遣之

十一日曇

時服二 宇佐大宮司
時服二 御殿 宮成彈正
銀十枚 御殿 竹生嶋 妙覚院
同 御殿 竹生嶋 同 妙覚院
同 御殿 竹生嶋 同 妙覚院
同 御殿 竹生嶋 同 妙覚院

右何も御いとま拝領物被仰付之

一 勅使 院使其外公家衆両山參詣^江付相詰面々

一 上野

御宮 (吉良上野介 二王門 永井信濃守)

甲府殿
館林殿
甲府中將殿
尾張殿
水戸殿
尾張中將殿
水戸少將殿
御譜代衆
御詰衆

御宮前惣門 (安藤對馬守 御堂 (大沢兵部大輔 藏田主計頭
二天門 石川主殿頭 車坂
寒松院口 安藤對馬守

一 増上寺
御佛殿 大沢右京大夫 山門石橋 青山大廳亮
裏門 板倉隠岐守

十二日 雨
於評定所式日寄合土屋但馬守
右孫之差合同氏出羽守娘死
稻葉美濃守

右家老役被申付度旨依御願今日炊浦大隅守牧野
備後守被為 召御望之通被 仰付旨右兩人^江老中
傳之

十三日 晴
巳后刻御白書院 渡御
酒井老岐守
内藤上野介

勅答 院答被 仰付之終^而公家衆御いとま被下之
花山院前大納言
千種前大納言
梅小路中納言
高倉前大納言
平松中納言
上使大沢右京大夫
大炊御門内大臣
德大寺前内大臣

右は 上使を以御暇被下之
各 銀十枚
小袖三 ツツ

時服三
御暇
紀伊殿使者
大沢造酒右衛門

右御暇^二付被下之
田村隱岐守

右氣分大切^二付願之通平賀玄屯療治可仕旨以奉
書被^一仰付之
永井道休

右は去十六日死去之由
時服三
御暇
大久保加賀守

上野 御名代
時服三十
御暇

廿一日 陰
當中無別条
時服三
御暇

廿二日 雨
於評定所寄合久世大和守
御前^二而
（日本紀江左甚事江）
神社奉^一江

右被 仰付之
松平山城守
上使大久保加賀守
紀伊殿

右到着^二付 上使被遣之
合朝参府
大御香
永井信濃守組頭
須田与左衛門跡^江

右之通被 仰付之
山岡傳五郎

廿三日
已刻於 御座之間参勤之御礼
御太刀目録
銀五百枚
時服三十
御手目契斗
抛被下之

右畢^而
紀伊中納言殿

尾張殿
水戸殿
尾張中將殿
松平左京大夫

右出座 御目見

御黒書院^江 出御
参勤之御礼

本多出雲守
松浦老岐守
祝言相濟御礼
時服三
時服四

太田撰津守
内藤紀伊守
病後之御礼
時服三
時服四

土岐山城守
永井信濃守
松平對馬守
曾我喜左衛門
拓植傳兵衛
箱肴
御暇

大坂御目付歸御礼
高木忠右衛門
秋原四郎左衛門
水野對馬守
久野丹後守
加納平次右衛門
橋本六郎右衛門
大沢善右衛門
村上与兵衛
垣屋十郎兵衛
九鬼半左衛門
銀馬代^二ツ

京都^江御暇
石谷長門守

増上寺 御名代
久世大和守

廿五日
右以 上使御暇被遣之
尾張殿

廿四日 晴
金五枚
時服三
羽折

御暇

御暇

御暇

御暇

御暇

御暇

御暇

御暇

去^九廿五日於京都卯上刻五条松原通東之銅院^ハ火事
出来家数二十九軒焼失之由

廿六日
尾張殿

右は御暇之御礼登 城刻御料理被下之於御圍御手前
御茶被進終^而 御鷹三居蠶捉雁捉鴨捉御馬三疋
御圍餽もの
御掛物
御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指
御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指

御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指

御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指

御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指

御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指

御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指

御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指

御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指

御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指

御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指

御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指

御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指

御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指

御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指

御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指

御茶入
御茶入
御茶入
御茶碗
御釜
御茶杓
御香宮
三羽
御水指

右は今晩死去

廿八日 晴

例月之ごとく諸大名出仕御札在之

御馬老 松平出雲守
一東老卷 光明寺
入院御札 高野山 大徳院
年頭

廿九日

一 御小姓組御書院番大御番小十人組等江御番人被 仰
付之御白書院東之間老中有列座被演達之

御小姓組石川市正組へ入

三郎左衛門利尚 馬場源七郎
大御番頭 永井傳左衛門
六郎五郎 元儀

不知 源三郎 川井惣十郎
書 源四郎 佐久間四郎太郎

大香組頭 藤四郎 林 藤助

同 内藤上野介組江入
小 左兵衛 春日八郎右衛門

小 小濱李助 大馬頭 鶴岡善四郎

書 惣左衛門 松崎市右衛門
小 小五左衛門 朽木弥三郎

同 酒井老岐守組江入
駿府町奉行 六左衛門重次一男
小納戸 長田左兵衛

御留守居番 御留守居番
御留守居番 御留守居番

大坂鞍手役 佐次兵衛 多門平次郎
書 甚五左衛門守要二男 御先手頭
水野甚右衛門守繼 平右衛門正頼子
書 主水惣領 本多半之丞一正種
川勝三十郎

同 米津周防守組江入
千代總様付 御先手頭
五郎左衛門季治惣領 勘解由惣領
本間傳十郎季豊 中山助六郎直房
御目付 梅之丞助寿四番目弟 忠左衛門惣領
曾我源三郎助勝 本間平兵衛

大身頭 大岡兵右衛門 松平惣十郎
書 忠兵衛惣領 帶刀惣領
大岡兵右衛門 金森平右衛門
書 忠兵衛惣領 帶刀惣領
土屋平十郎 土屋左門茂直

御作事奉行 新右衛門政直惣領 兵部少輔之重一男
大井庄十郎政長 土屋左門茂直

同 岡部隠岐守組江入
御使番 与三右衛門直方惣領
新庄源左衛門直恒 高木貞右衛門為治

主馬惣領 天方三郎兵衛 三枝弥左衛門守常
左太夫惣領 井上半十郎 坂本久五郎成方

大組頭 丸茂勘右衛門 竹内新介
兵左衛門惣領 御先手頭 半之丞可連二男
蜂屋喜三郎可安

書 傳右衛門惣領 天野五郎左衛門 御目付
土岐伊与守組江入 權之丞助寿美子
長崎奉行孫九郎貞助惣領 曾我平八郎助清

小納戸 岡野孫四郎宗明 大藤七郎惣領
平右衛門惣領 秋浦喜兵衛勝頼 大馬頭
羽太内記 松波甚兵衛 御先手頭
甚左衛門惣領 新庄織部直政

書 松波甚兵衛 八左衛門惣領 能勢助右衛門
大御番頭 大久保豊前守組江入 御目付
大久保豊前守組江入 源左衛門宗恒惣領
撰津守守俊二男 川口内匠宗直

小納戸 三枝十兵衛守紫 本院附
七左衛門長高美子 土佐守久備二男
牧 傳八郎長福 岡部惣兵衛
次郎兵衛直成二男 大岡新十郎直信 六郎左衛門惣領
新番組頭 八右衛門惣領 神谷源五郎 彦坂甚十郎重敬
八右衛門惣領 彦坂甚十郎重敬

同 大久保豊前守組江入 彦坂甚十郎重敬

大御番 与三右衛門直方二男 新庄權九郎直重
石見守惣領 石丸教馬 大番組頭
大香与頭 久右衛門美子 新左衛門惣領
齋藤弥左衛門 寛 太郎兵衛

書 清兵衛惣領 加藤半左衛門 安部權四郎
書 次郎兵衛美子 安部權四郎 伊藤佐兵衛
書 清兵衛惣領 加藤半左衛門 安部權四郎 伊藤佐兵衛
書 次郎兵衛美子 安部權四郎 伊藤佐兵衛

同 大草主膳正組江入 御馬頭夕
御使番庄之助勝次二男 六左衛門美子
小十人頭 櫻井庄十郎 秋山平十郎
彦兵衛忠治二男 忠左衛門重近惣領

書 甚左衛門美子 松平又四郎 間宮忠兵衛
書 甚左衛門美子 松平又四郎 間宮忠兵衛
書 甚左衛門美子 松平又四郎 間宮忠兵衛

書 八之丞惣領 蒔田宇右衛門 安藤郷右衛門
書 四郎右衛門美子 平井吉右衛門 安藤郷右衛門

右人數八十九人 御書院番水野長門守組
小 淡路守 權左衛門美子
小 鈴木与五右衛門 切手門番頭
宇右衛門惣領 甚左衛門惣領

小十人頭 中根平七郎 鶴殿平八郎
權三郎利友惣領 小安右衛門惣領
嶋田權兵衛政信 井戸庄之助

踏地方 四郎兵衛四方二男 小 大左衛門惣領
田付大助利清 井出十左衛門

同 本多備前守組江入 大 甚右衛門美子
小 長兵衛惣領 横山忠兵衛
三枝長四郎 小八郎右衛門惣領
忠左衛門重近二男 問宮安右衛門重隆 客合
問宮安右衛門重隆 新見源左衛門
甚兵衛惣領 安西彦八郎 四郎左衛門忠重美子
西丸御留守居 二丸御留守居
大學康重美子 三郎左衛門重吉惣領
御使頭 新五左衛門直廣美子 元神田邸留守居後 孫兵衛 死二男
左大夫二男 松平新五右衛門直由 原田小兵衛種盛
井上友之助 小 七兵衛惣領 朝岡織部

同 稲垣備後守組江入 小 源五左衛門美子
小普請 菅沼藤十郎 神保新五左衛門
小 平左衛門惣領 小 善左衛門惣領
酒井勘右衛門 松平權左衛門
書院番与頭 彦五郎成久二男 御持頭 助之進米忠一男

大名 右衛門大夫弟 石川彦大夫成重 御先手頭 松平進之丞米全
木下左兵衛長治 横山圭左衛門 某

小十人頭
源左衛門正吉惣領
秋山内藏允
大番組頭
源太郎惣領
大竹權之助
同 安藤老岐守組 正入
小 彦左衛門惣領
柳沢長右衛門
御先頭
織部重政養子
小 左太夫惣領
宮崎頼母 重典
筑紫石近
同 稲葉石見守組 正入
寄合傳左衛門重政惣領
小 三右衛門惣領
三宅六右衛門
小 岡部主水

新御番頭
茂兵衛惣領
中山十郎左衛門
小 半七郎惣領
三宅五郎左衛門
右人数七拾三人
大御番酒井下総守組 正入
大身頭
助左衛門三男
小嶋源八郎
小十人組頭
市左衛門惣領
青木久三郎
大 茂八郎養子
川上太郎右衛門
御膳物方
彦兵衛惣領
富永新之丞

御納戸組頭
五郎兵衛養子
本多与十郎
大 三左衛門惣領
津田六之助
大 權左衛門惣領
込山太郎左衛門
大 山下文左衛門
大 五郎右衛門養子
小野源四郎
同 植村土佐守組 正入
大坂御藏奉行
市右衛門惣領
石川百助
大 大郎左衛門惣領
賀茂宮与兵衛
大 源五兵衛惣領
成瀬左門
漆奉行
新五兵衛養子
鈴木彦二郎

御納戸組頭
五郎兵衛養子
本多与十郎
大 三左衛門惣領
津田六之助
大 權左衛門惣領
込山太郎左衛門
大 山下文左衛門
大 五郎右衛門養子
小野源四郎
同 植村土佐守組 正入
大坂御藏奉行
市右衛門惣領
石川百助
大 大郎左衛門惣領
賀茂宮与兵衛
大 源五兵衛惣領
成瀬左門
漆奉行
新五兵衛養子
鈴木彦二郎

同 酒井伊豫守組 正入
大身頭
次郎兵衛惣領
川井平吉
同 武田越前守組 正入
大 三郎兵衛惣領
竹内頼母
材木奉行
六郎左衛門惣領
小林三之丞
御代官
傳兵衛惣領
拓植傳右衛門
大 半左衛門養子
服部十太郎
同 本多淡路守組 正入
大 七郎左衛門惣領
服部半兵衛
大 五郎左衛門惣領
山上内藏助
大身頭
藤四郎養子
西尾藤右衛門
大 源五左衛門惣領
小尾平八郎
大 佐五右衛門養子
春日半左衛門

御納戸組頭
五郎兵衛養子
本多与十郎
大 三左衛門惣領
津田六之助
大 權左衛門惣領
込山太郎左衛門
大 山下文左衛門
大 五郎右衛門養子
小野源四郎
同 植村土佐守組 正入
大坂御藏奉行
市右衛門惣領
石川百助
大 大郎左衛門惣領
賀茂宮与兵衛
大 源五兵衛惣領
成瀬左門
漆奉行
新五兵衛養子
鈴木彦二郎

同 松平縫殿頭組 正入
大組頭
權左衛門三男
同 嶋傳五郎
○ 半右衛門養子
大谷平右衛門
御代官奉行
平助惣領
小林權平
新 新八郎惣領
遠山平太夫
同 永井佐渡守組 正入
大 八郎右衛門惣領
鈴木内藏助
同 堀田對馬守組 正入
大坂弓奉行
六左衛門養子
水上六右衛門
大 喜六郎惣領
大 利兵衛惣領
大 大井長兵衛
大 半兵衛惣領
國領太郎兵衛

御納戸組頭
五郎兵衛養子
本多与十郎
大 三左衛門惣領
津田六之助
大 權左衛門惣領
込山太郎左衛門
大 山下文左衛門
大 五郎右衛門養子
小野源四郎
同 植村土佐守組 正入
大坂御藏奉行
市右衛門惣領
石川百助
大 大郎左衛門惣領
賀茂宮与兵衛
大 源五兵衛惣領
成瀬左門
漆奉行
新五兵衛養子
鈴木彦二郎

同 水野周防守組 正入
大身頭
五郎左衛門二男
竹内十藏
大 作左衛門養子
大 大岡三左衛門
同 田中大隅守組 正入
十郎左衛門惣領
秋山六郎左衛門
○ 半左衛門惣領
幸田傳八郎
大 清兵衛惣領
後藤右衛門八郎
小十人組頭
傳九郎惣領
高屋傳八郎
大 九郎左衛門惣領
次郎左衛門惣領
土屋半左衛門

御納戸組頭
五郎兵衛養子
本多与十郎
大 三左衛門惣領
津田六之助
大 權左衛門惣領
込山太郎左衛門
大 山下文左衛門
大 五郎右衛門養子
小野源四郎
同 植村土佐守組 正入
大坂御藏奉行
市右衛門惣領
石川百助
大 大郎左衛門惣領
賀茂宮与兵衛
大 源五兵衛惣領
成瀬左門
漆奉行
新五兵衛養子
鈴木彦二郎

同 荒川出羽守組 正入
左衛門惣領
寄合 榊原半兵衛 職房
五兵衛 死惣領
小 水上六郎兵衛
御後頭 良直
主膳 二男
藤堂新介
高家
吉良上野介義央三番目弟
東條織部
小 十左衛門惣領
松平主膳
御先手
惣八郎 正親養子
同 中根大隅守組 正入
甚右衛門死惣領
小 横田傳之助

御納戸組頭
五郎兵衛養子
本多与十郎
大 三左衛門惣領
津田六之助
大 權左衛門惣領
込山太郎左衛門
大 山下文左衛門
大 五郎右衛門養子
小野源四郎
同 植村土佐守組 正入
大坂御藏奉行
市右衛門惣領
石川百助
大 大郎左衛門惣領
賀茂宮与兵衛
大 源五兵衛惣領
成瀬左門
漆奉行
新五兵衛養子
鈴木彦二郎

同 町野老岐守組 正入
平九郎養子
小 山本平九郎
御先手頭
四郎左衛門重政惣領
山崎十左衛門 正周
小 權左衛門惣領
日下部主助
甲府邸御守傳右衛門信政惣領
瀬名權之助 信次
同 荒川出羽守組 正入
左衛門惣領
寄合 榊原半兵衛 職房
五兵衛 死惣領
小 水上六郎兵衛
御後頭 良直
主膳 二男
藤堂新介
高家
吉良上野介義央三番目弟
東條織部
小 十左衛門惣領
松平主膳
御先手
惣八郎 正親養子
同 中根大隅守組 正入
甚右衛門死惣領
小 横田傳之助

御納戸組頭
五郎兵衛養子
本多与十郎
大 三左衛門惣領
津田六之助
大 權左衛門惣領
込山太郎左衛門
大 山下文左衛門
大 五郎右衛門養子
小野源四郎
同 植村土佐守組 正入
大坂御藏奉行
市右衛門惣領
石川百助
大 大郎左衛門惣領
賀茂宮与兵衛
大 源五兵衛惣領
成瀬左門
漆奉行
新五兵衛養子
鈴木彦二郎

御納戸組頭
五郎兵衛養子
本多与十郎
大 三左衛門惣領
津田六之助
大 權左衛門惣領
込山太郎左衛門
大 山下文左衛門
大 五郎右衛門養子
小野源四郎
同 植村土佐守組 正入
大坂御藏奉行
市右衛門惣領
石川百助
大 大郎左衛門惣領
賀茂宮与兵衛
大 源五兵衛惣領
成瀬左門
漆奉行
新五兵衛養子
鈴木彦二郎

○ 三右衛門養子
富士見番頭
阿部次郎左衛門

深尾八郎左衛門

右大御番八十七人

小十人組山岡十兵衛組江入

小十人

澤平兵衛

同 田中孫十郎組江入

小十人

窪田惣兵衛

同 松平彦兵衛組江入

大坂御殿奉行

本間小十郎

○ 三左衛門惣領
小嶋孫助

同 阿忠右衛門組江入

十左衛門惣領

石原彦右衛門

同 秋山源左衛門組江入

○ 三右衛門惣領

服部忠右衛門

甚右衛門惣領

小ア 加藤左助

小納戸権兵衛惣領

浦野權之助

同 瀧美九郎兵衛組江入

○ 善左衛門惣領

大岡善七郎

○ 半左衛門惣領

幸田庄次郎

同 嶋田權三郎組江入

小十人

山梨弥八郎

同 田中作兵衛組江入

小十人

中嶋三四郎

同 秋田平太夫組江入

大 半兵衛二男

国領源次郎

同 三嶋清左衛門組江入

御右筆

与兵衛惣領

建部三四郎

同 三嶋清左衛門組江入

御右筆

与兵衛惣領

同 三嶋清左衛門組江入

小十人

牛奥甚太郎

右小十人組二十七人

惣合式百七十六人也

大 伊右衛門養子
松平友之助

御右筆

惣右衛門惣領

建部彦右衛門

先手頭

五郎太夫正冬二男

算 新五右衛門正唐

御納戸

孫三郎惣領

上田權之助

小十人

平右衛門惣領

笹山七郎右衛門

兵助惣領

漆戸八藏

小十右衛門惣領

鈴木三之助

○ 甚五左衛門惣領

庵原金右衛門

小十人瀬兵衛惣領

小宮山七之助

○ 右衛門九郎弟

三橋權左衛門

小十人

藤兵衛惣領

山中藤十郎

八郎右衛門養子

鳥居門之助

晦日晴

尾張殿

右は今朝発足^二付成瀬豊後守被^一 差上之謁稲葉

美濃守

黒塗再檢

御靴五日

殿五懸

右は為御土産使者を以被差上之

四万石

小笠原山城守

右は跡式無相違惣領能登守^二被下旨被^一 仰渡之

遠州大井戸御代官

長谷川藤兵衛

右如亡父時遠州駿州御代官被^一 仰付之

松平因幡守

右は昨日妻男子平産也

一 石谷長門守牧野撰津守此兩人組^二与力五騎^一 充益都合

拾騎四拾人^二被^一 仰付也

足輕拾人

紀伊殿使者

橋本六郎右衛門

柳營日次記

延宝六^{戊午}年

四月

朔日曇

例月之ごとく諸大名出仕御礼有之^一 御刀 朽木和泉守

箱肴 湯治掃御礼

箱肴

從役所參府

同

加茂社人參府

同

同

同

同

右御礼申上之

御宮 兩御佛殿へ初筭御進献之

一 騰雲院殿^{三郎信康} 當九月十五日就百年忌為御法事料銀

百枚遠州二侯之青龍寺^二被下之事^一

一 信康之御母堂筑山殿菩提所西来院寺領只今迄為十石之

地自今二十石御増寄被成候間都合三十石可取納之旨西

来院へ申渡之

二日晴

當九月十五日騰雲院殿百回忌^二付遠州二侯清竜寺^江御法

事料白銀百枚被下之是筑山殿御腹三郎殿之御事也

願学

北室院

右被 仰付之

右被下之是^八騰雲院殿へ御母堂筑山殿御菩提所之由

時服五

光明寺

右被下之

三日晴

老衰

二万石

安部丹波守

右願之通隠居被^一 仰付之本領無相違惣領撰津守^江被下之

新田千石次男介九郎江被下之

町野老岐守
中根平十郎

右兩人願之通御役 御免被 仰付之

四日晴

於評定所式日寄合稻葉美濃守出座也

保田善兵衛
松平孫大夫

右兩人下総国佐倉城大久保加賀守へ引渡可被遣旨被 仰付之

日光御門跡

右は近日就御登山御醫師片山宗元差添可被遣旨被 仰付之

甲府殿
館林殿

右 上使を以被遣之
今朝從四位下松平右近大夫源朝臣頼良卒行年十八是、播磨守頼安男也

千代姫御方へ梅首鶏五被遣之

五日晴

水戸殿
松平播磨守江

右 上使被遣是、同氏右近大夫不幸ニ付なり
今度天樹院殿御年忌ニ付御免之分

林 殘
廓 秋
利 察
青 哲
南 山

五十嵐兵左衛門
塚本弥五兵衛

同 小市郎
奥平原八

夏目外記
奥平傳藏

嶋御免

御預御免
御預御免
御預御免

御預御免
御預御免
御預御免

出籠

龍町
五郎兵衛
小石川町人
小兵衛
同所
傳右衛門

六日曇

右到着ニ付 上使被遣之

七日晴

已后刻黒書院 出御

總百把
金馬代
銀馬代
時服三
輻燭三箱
銀馬代
染皮十枚
銀馬代
染皮三十枚
羽折二
銀馬代
染皮二十枚
銀馬代
雨鞍履五
銀馬代
染皮十枚
銀馬代
染皮十枚
時服百

右は煩ニ付登 城無之

銀三百枚
時服三十
御馬老足

同断
銀百枚
時服十

同断
銀五十枚
時服十
銀百枚
時服五
銀百枚
時服四
御馬老足

唐津江御暇
五畿内巡見帰

唐津江御暇
五畿内巡見帰

唐津江御暇
五畿内巡見帰

松平安藝守

松平安藝守

仙石越前守

小出備前守

関 備前守

六郷佐渡守

三宅能登守

分部隼人正

一柳對馬守

北條伊勢守

青木甲斐守

木下内匠

竹中左京

松平大隅守

松平阿波守

松平出羽守

加藤遠江守

稲葉右京亮

有馬左衛門佐

秋月佐渡守

木下右衛門大夫

片桐主膳正

松平和泉守

下嶋市兵衛

設楽勘左衛門

竹村九郎右衛門

守屋傳左衛門

金丸又左衛門

下嶋甚右衛門

赤坂孫七郎

遠藤新兵衛

右之面々 御目見

時服二
同

御暇

加茂社人

富 左京

西池民部

富 左京

八日雨

當月日光 御名代被仰付

十七日
同日
廿日
御名代

祭礼警固

御名代

上使板倉石見守

阿部美作守

毛利甲斐守

右到着ニ付 上使被遣之

御門跡其外へ寺領新加被 仰出之趣次飛脚達之

一貳百石
一貳百石

實相院御門跡

圓照寺殿

右、去年御門御下向之砌從 女院御願ニ付被下之

一貳百石
光 雲 寺

右、妙莊嚴院女寺為佛供料新規御寄附

一貳百石

毘沙門堂門跡

右、弟子為部屋賄料被遣之

御暇時ふく武

茶屋小四郎

九日曇

水戸殿

右は今日忌明ニ付登 城是、忌中 上使之御礼也

寺領新知被 仰出覺

實相院門跡

圓照寺

法皇御君

圓照寺

右は去年日門御下向之時分御願之通今度被遣之
百石 光雲寺
右は明莊殿院女三宮為供御料新規御寄附也
式百石 毘沙門堂門跡

右是は弟子部屋為賄料被下之
右之通以書付被 仰遣之

十日風雨

右參府^二付被遣之
參府 上使稲葉美濃守 松平越前守

於 御前老中不殘從長崎到来之唐金御香炉拜領之
鶴子 雅楽頭 美濃守 大和守 但馬守 加賀守

去八日被 仰出実相院圓照寺光雲寺領新加之儀今日
日門へ被 仰遣
八木式百俵毘沙門堂へ是、御弟子宮御契約御勝手御不自由之段
日門御願之趣為被 上開為御賄料每歲可被遣旨日門へ被遣
京極若狭守後室圓光院京都品枝近所古跡之寺地求之近
隣之明地買添之 圓通寺と勅額申請妙心寺末^二仕度由
戸田越前守迄願之趣相濟旨達之

十一日

御黒書院 出御 參勤之御礼

銀三百枚 松平越前守
金馬代 金馬代 毛利甲斐守
銀五百枚 藤堂佐渡守
羅紗十間 金馬代 松平上野介
時服十 銀馬代 九鬼大隅守
銀馬代 銀馬代 加藤織部正
時服三 銀馬代 一柳山城守
銀馬代 禁皮廿枚 朽木監物
萬蒲皮二十枚 銀馬代
征矢式百筋 金馬代
黃金廿枚 時服六 小笠原能登守
黃金十枚 時服五 安部撰津守
時服五 分知之御礼
金馬代 新田拜領 安部介九郎

銀馬代 初見 小出五郎介
時服三 上使久世大和守
時服五十枚 松平相模守
御馬老正 御暇 上使壽田八郎左衛門
時服二十 松平但馬守
同断 松平中務大輔

時服五 松前八左衛門
羽折 細井金五郎
時服六 稻葉采女
羽折 齋藤民部
時服五 小笠原山城守
羽折 安部丹波守

唐津江御暇
松平越前守家來
御目見

右遺物として進上之
信國御小脇指 代金十三枚
日光御祭礼奉行 増山兵部少輔

右被 仰付候處差合^二付

右被 仰付之

十二日 曇天朝晴

於評定所式日寄合大久保加賀守

萬粉一箱 日光御門跡
右御登山^二付以 上使被遣之
上使秋元撰津守 森 伯耆守

右到着^二付被遣
梅首鶏五 上使中根大隅守 紀伊殿
同 上使岡部隠岐守 水戸殿

右 上使をもつて被遣之
日光江御暇 畠山下總守
酒井越前守

右御暇被下之
両山 御佛殿へ薰筭御進献之

十三日 雨
上使内藤上野介 甲府中将殿
上使岡部隠岐守 尾張中将殿
同 紀伊中将殿
上使水野将門守 水戸少将殿
上使渡邊久介 松平加賀守

右何も 御鷹之[■]五ツツ被遣之
■は伴に鳥
上使大岡助左衛門 松平左京大夫
上使保田甚兵衛 松平大膳大夫

十四日
右以 上使御鷹之[■]五ツツ被遣之
■は伴に鳥
上使大岡助左衛門 松平左京大夫
上使保田甚兵衛 松平大膳大夫

十五日

如例月諸大名出仕有之

參府之御礼

一束巻卷 難目 京東山 禪林寺
一束一本 寺領御加附御礼 造州 西来院
同束巻 難目 京東山 北室院
同束本 參上 京都 蓮華峯寺
箱香 參上 濃州御代百 誓願寺
鳥目 參上 秋田九郎兵衛
短冊 參上 石原清左衛門

右之通被 仰付之
宗看 本因坊 宗桂 碁将某之者共
御書院番頭 宗身 門入 因碩 松平内匠頭
町野老殿守跡江

佐竹右京大夫參府^二付 上使但馬守

右可被遣之旨被 仰付之

右は氣色本服今日登 城也

右御暇^二付被下之

松平陸奥守參府^二付 上使但馬守

廿二日 晴

巳刻御黒書院 出御

参勤之御礼

堀田備中守

尾張殿使者

大道寺玄蕃頭

海保弥兵衛

松平陸奥守

織田山城守

松平大藏大輔

鍋嶋備前守

有馬伊豫守

同 周防守

御暇

上使松平山城守

鍋嶋中務大輔^二

松平飛騨守

京極甲斐守

山内大膳亮

森 對馬守

岩城伊豫守

桑山美作守

市橋下総守

小出大隅守

建部内匠頭

松平久米之助^十

帰国之御礼

松平讃岐守使者

大森式部

芝田中務

右何^茂 御目見

参府御礼

信濃衆

小笠原靱負

知久伊左衛門

座光寺喜兵衛

佐倉^江御暇

保田甚兵衛

松平孫大夫

本多備前守

右可被遣之旨被 仰付之

上使を以御鷹^二被下之面々

松平撰津守

松平刑部大輔

松平播磨守

立花飛騨守

右為御礼登 城也

右到着^二付被遣之

於評定所式日寄合土屋但馬守

廿三日 曇

以上使御鷹之梅首鷄五ツツ被下之

松平陸奥守

松平伯耆守

織田山城守

毛利甲斐守

松平大藏大輔

伯耆守

松平肥前守

右何も御礼として登 城

已下刻西丸^江 渡御也

奥山里馬場乗馬 上覽安藤老岐守組武田越前守組

廿四日 陰正刻々甚雨

増上寺 御名代 稻葉美濃守

法然寺後住江

右之通被 仰付依之増上寺方丈登 城也

時服三

同 三

同 式

右御暇^二付被下之

於 御座間日光掃

御目見

廿五日 雨卯刻々晴

右一昨日御帰府^二付被遣之

右到着^二付被遣之

廿六日 晴

右以 上使被遣之

青磁花入

若年寄兩人

土井能登守

堀田備中守

御側衆三人

松平因幡守

石川美作守

内藤若狭守

右之通被下之但於 御前也

廿七日 晴

右参勤之処病氣^二付使者を以進上之

赤羽仁右衛門

廿八日 晴

如例月之諸大名御礼有之

参勤御礼

立花飛騨守

牧野因幡守

本多弾正少弼

寶竜寺 利覚

佐野

東山

菅 願寺

京

蓮花峯寺

阿部美作守

上使織田主計頭

日光御門跡

上使大久保加賀守

松平土佐守

上使福集清左衛門

森 内記

御鷹之^二五

御暇被下

(時服三十
御馬老正)

上使櫻井任之助
松平大和守

後住之御礼

一東老卷

遺州
法然寺

二条殿石丸君号綱平元服^ニ付綱之御一字被下之依之

(真御大刀良守
代金式杖
御馬代金老杖)

石丸君^ヲ
使者隠岐修理亮

右之通被差上之

二種老卷

二条
撰政殿^ヲ

(銀十枚
箱者)

二条撰政殿御廳中
女五宮御方^ヲ
使者同人

右被差上之使者 御目見

右之石丸君二条少将綱平と被 号也

参府之御礼

篋一箱

高木藤兵衛

和紙一箱

鈴木三郎九郎

箱者

諸星庄兵衛

高宮百端

大津惣代

(時服四
羽折)

尾張殿使者
渡邊半蔵

尾州^江御暇

黄金十枚

本多備前守

一 於 御前老中不残御鷹之[■]拝領之

雅菜頭五ツ

其外^ハ三ツ也

東卷

遺岐
法然寺

御臺所目付黒野又右衛門御免為代江守傳左衛門被 仰付之

廿九日 雨

御鷹之[■]五

上使新庄与惣右衛門
立花飛驒守

右 上使を以被遣之

御鷹之[■]三

酒井河内守

右は於 御前拝領之

(銀十枚
時服式)

二條殿使者
隠岐修理亮

右御暇に付被下之

尾張中將殿

右は尾州^江 上使被遣候為御礼登 城也

京都^江御暇

黄金式杖

女院御所^江被進品々

鴨之香炉

一ツ

青螺之机

一ツ

青磁切酒

老ッ

阿蘭陀時計

老ッ

猩々緋

老反

右之通被進之

時服二

御暇

右被下之

御暇(銀千枚
時ふく百)

本因坊道策碁所被 仰付之

中川勘三郎

上使美濃守
松平加賀守

角倉与市

柳營日次記

延宝六^{戊午}年
五月

朔日雨

如例月諸大名出仕有之
御暇之面々

銀千枚

時服百

御鷹二双

御馬式疋

御馬老疋

時服三十

御馬老疋

時服五

羽折

上使福美濃守
松平加賀守

上使土福馬守
藤堂和泉守

松平加賀守家來
前田對馬

大津惣代
小川六左衛門

井口喜兵衛

右之通御暇^ニ付被下之

上野芝両山へ駿府へ到來初瓜茄子御進獻之

女院御所へ端午之御祝儀被進之

二日曇

右は一昨日卒

御宮 御堂 御佛殿へ楊梅御進獻之駿府へ到来也

三日晴

如例年為端午之御祝儀從御一門方諸大名時服進上之

四日曇夜大雨

式日寄合延引

島山下総守

上杵伊勢守

右兩人被為 召伴共事向後 御目見場所父部屋住之時分

御目見仕候御座敷^ニ而可仕旨老中傳之

表高家衆列

表高家列

下總守惣領

島山修理

伊勢守惣領

上杵主水

菊之開列

右菊之間 御目見

五日 霏雨

辰后刻御黒書院 出御

右 御對顔御白書院 渡御

甲 府殿
館 林殿

紀伊中納言殿

水戸宰相殿

尾張中將殿

紀伊中將殿

水戸少將殿

井伊玄蕃頭

松平左兵衛督

松平近江守

右御礼有之大廣間 出御

松平左近大夫

松平摂津守

松平三河守

松平伯耆守

松平刑部大輔

松平播磨守

松平安藝守

松平越前守

上秋彈正大弼

松平豊後守

毛利甲斐守

立花飛騨守

松平大藏大輔

織田伊豆守

松平若狹守

丹羽若狹守

松平肥前守

酒井左衛門尉

松平隱岐守

右老人^{ツツ} 御礼畢^面 榊原式部大輔を始諸大名式人三人四人^{ツツ} 出座 御目見其外例年のことく寄合之面々一同御礼在之

一 齋一口

井関次郎左衛門

六日 晴

於評定所式日寄合久世大和守出座一昨日御延引^二付^面也

七日 晴夕風

帰国御礼

松平丹後守使者

中野勘解由

右 使者を以て進上之

一 銀五枚

女院御所御使 高橋八郎左衛門

右御暇^二付被下之

一 明八日西丸^江可被 為成旨御供觸^四ツ時

八日 晴

帰国之御礼

松平阿波守使者

武藤十兵衛

右 使者を以て進上之

一 時服五

松平丹後守使者

中野勘解由

已下刻西丸^江 渡御

一 御留守

堀田備中守

一 親世大夫座金春座^并 七大夫御暇白銀時服等如例被下之

此件^大 但七大夫儀は當年迄可相詰旨被 仰付之

親世金春兩座之猿樂へ金銀時ふく被下之

願之通跡式被下

山里馬場^三 乘馬 上覽諏訪部喜右衛門西川瀬兵衛中山勘

兵衛加藤勘四郎同太郎右衛門相勤之

九日 晴

唐津^上御使

右可被遣之旨被 仰付之是は松前八左衛門病氣^二付代也

一 御暇時ふく三

松平阿波守使者

十日 朝雨辰刻夕晴

已后刻御黒書院 出御

参勤之御礼

松平土佐守

水野右衛門大夫

秋田信濃守

酒井石見守

祝言相濟御礼

戸澤能登守

鳥居左京亮

久留嶋帶刀

南部信濃守

小笠原能登守

神尾下総守

京都^江御暇

二条在番帰

松平縫殿頭

本多淡路守

右 御目見

組 中

組頭八人 作 式人

大藏少輔男

青山石之介

伊勢守 次男

松平靱負

和泉守 男

戸田十郎右衛門

武田市十郎

片桐平八郎

左京男
津輕采女
十郎左衛門兼子
鶴殿右衛門
七兵衛男
石尾織部
藤九郎男
五味外記
戸田權之丞
酒井伊豫守組次郎左衛門男
永田彦次郎
島目

右兩人は大御番衆子共也
尾張使者
鈴木彈七
右使者被差上是、同氏撰津守去頃初、被遣候御札なり

十一日 無事
十二日 陰
於評定所式日寄合稲葉美濃守出座
尾張門使者
鈴木彈七
女院御所御氣色、付平賀玄純近日京都へ可被遣旨

十三日 雨
御前御役替被 仰付
荒井御番
中根平十郎跡役
新院御所附
小笠原丹波守跡江
瓜連
常福寺後住江
浄因寺後住江
石川又四郎
酒井卷成守組
岡部三右衛門
岩附
浄國寺
増上寺一齋
孤雲

右之通被 仰付之
御暇
福原内匠
芦野民部
太田原隼人
十四日 雨
女院御所江
右可被遣之旨被 仰付
前出
大岡弥右衛門
上使
平賀玄純
右同道可仕之旨被 仰付之

十五日 雨
如例月諸大名出仕御札有之
參勤之御札
堀 左京亮
堀川右近
銀馬代
帳燭三箱
太刀目録
包袋十

右は新家之清花之列被 仰付且又家領被遣候御札也
清花之使者、右大臣以下之節、御前へ雖不被召出罷事、今度
新家被 仰付其上、一條殿使者被召出候付依誰黙止也重之儀は
不相成

右は加領被遣候御札也
二種老荷
太刀目録
巻物三
繻珠
包袋
一條殿使者
難波内藏權頭
佐野修理
圓照寺殿使者
武藤伊兵衛

（時服二十）御馬一疋
（時服五）羽折
（巻敷）包袋十
同
水戸へ御暇
若王子
僧三上治部卿
勝仙院
使 僧小島大夫

（黄金三枚）時服二
（金三枚）
黄金五枚
京都江御暇
大岡弥右衛門
平賀玄純
唐津江御暇
新庄与三右衛門
初而 御目見
狩野内匠弟
主 水
御暇
春木大夫
山本大夫
兩 使

右御暇ニ付被下之
駿府加番被仰付
一柳對馬守
三枝右近
安藤彦四郎
右之通被 仰付之
銀三百枚
綿式百把
日光御門跡へ
右は近日御上京ニ付被遣且又牧野半右衛門差添可被遣旨
被仰付之
包袋十
今小路民部

御暇時ふく式ツツ
松平備後守
山本大夫 使者

十六日 晴
上野火之番
松平備後守
戸田石見守
大久保主膳
本多主殿

右四人日門御上京中火之番被 仰付之
御暇被下面々
一條殿使者
難波内藏權頭
堀川右近
佐野修理
圓照寺使者
武藤伊兵衛
今小路式部卿

（時服二ツツ）
右御いとまニ付被下之
明十七日紅葉山被為 成旨御供觸五ツツ時
上使板倉石見守
丹羽左京大夫

右到着ニ付被遣
松平土佐守増上寺火之番被 仰付之
御供
御刀
御杵
御先立
酒井河内守
御留守
御先立
日門奉迎
豫參 大和守但馬守加賀守

十七日 晴
辰刻紅葉山 御社參
米津周防守
稲垣市正
土井能登守
堀田備中守
石川美作守
内藤若狭守
御老 中
松平因幡守

紀黃門水少將陪拜

十八日 快

尾州ノ婦參

本多備前守

右於 御座之間 御目見

二条在番婦

大御番兩組

右在番中善惡御改在之

(黃金三枚 時服二)

右奥方御繪被 仰付_二付被下之

本院御所_江

右被為遣之

御祝箱 色襦子十卷

諏訪部文九郎

中山勘兵衛

右兩人府中_江御馬買可被遣旨被 仰付之

神尾下總守於御座間 御黒印被下之

御加指

式百依

五十依

都合百五十依

都合百五十依

五十依

御名代被 仰付之

内藤上野介伊勢へ

十九日 晴

京都婦

右 御目見

女院御所御不例追_而御不快之由

右は 女院御所為御見舞可被遣之旨被 仰付之

右之通被 仰付之

御小納戸衆

廿日 陰雨風

辰刻紅葉山 御佛參

御刀

酒井老岐守

御香

御供

御先_江

御留守

御先立

酒井河内守

紀黃門水少將陪拜

日門拜迎

豫參

雅樂頭美濃守大和守但馬守加賀守

黃金五百兩

丁子油五壺

午王老香合

白家老壺

チンタ酒老壺

上使大沢右京大夫

日光御門跡_江

右之通以 上使被遣之是は近日御上京_二付_新也其外被下物

覺

銀十枚

時服三

銀十枚

同

同

同百枚

日門へ當月御祈禱料銀百枚被遣之

廿一日 晴

右は明後日御上京_二付登_三城

御對顔在之次_二

日光御門跡

信 解院

佐々木民部卿

野沢縫殿介

右御供_二付_三御目見也

京都_江御暇

黃金五枚

時服二

羽折

黃金貳枚

時服貳

三枝對馬守

土井能登守

堀田備中守

石川美作守

内藤若狹守

御老 中

松平因幡守

御手自御羽折被下之

伊勢_江御暇

黃金十枚

右於 御前被下之

内藤上野介

日光御門跡

信 解院

佐々木民部卿

野沢縫殿

惣 供 中

日門家來

野沢縫殿

野沢縫殿

惣 供 中

日門へ當月御祈禱料銀百枚被遣之

廿一日 晴

右は明後日御上京_二付登_三城

御對顔在之次_二

日光御門跡

信 解院

佐々木民部卿

野沢縫殿介

右御供_二付_三御目見也

京都_江御暇

黃金五枚

時服二

羽折

黃金貳枚

時服貳

時ふく式_二ツ

御暇

右は拜領物如何也

廿二日 快

式日寄合大久保加賀守出座

果慶六

右從國元以使者差上之

京都_江御暇

廿三日 晴

金五十枚時ふく十

御召之御羽折 御掛祝 御茶入

若王寺

使 僧

勝仙院

使 僧

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

尾 張 殿

御供

御先江

御留守

御先立 酒井河内守

三家陪拜無之病氣依也

豫參 雅楽頭大和守但馬守加賀守

廿五日 無事

廿六日 晴

上使土岐伊豫守

甲府殿

館林殿江

右以上使御巢鷹ニツツ被遣之

佐倉引渡帰

保田甚兵衛

松平孫大夫

右登城也

秋元摂津守家来

梶塚源五右衛門

牧野小右衛門

右は甲州芦川村論所見分仕舞ニ付御褒美として被下之

紀黄門息女采姫近日婚姻ニ付箱籠三十卷一荷ニ種被下之

日門上京御道中迄御尋奉書 奥 稲葉美濃守同断

廿七日 晴

土岐山城守

右被為 召息左京亮病氣ニ付二男伊豫守惣領被 仰付之

向後御側御奉公御用捨之旨被 仰付席山吹之旨也雅楽

頭傳之

松平但馬守

右於川寄病氣ニ付息若狭守御暇被下之

廿八日 晴

例月のことく諸大名出仕御礼在之

參勤之御礼

銀馬代

時服二

前田宮内

脇坂主殿

佐倉引渡帰 御目見

保田甚兵衛

松平孫大夫

河合介左衛門

鈴木主殿

右は国元江

上使被遣候為御礼以使者差上之

知久伊左衛門

小笠原鞆負

座光寺喜兵衛

右御暇被下物無之

岡村隱岐守

右跡式無相違惣領右京亮江被下之旨松平陸奥守老中傳

之

廿九日 晴

上使水野長門守

紀伊殿

水戸殿

右は以上使被遣之

時服四

羽折

鈴木主殿

右御暇ニ付被下之

御宮 兩御佛殿初御進献之

稲葉美濃守上京ニ付道中迄御尋奉書

三十日 晴

尾張黄門殿江

右は國元江被遣之

奥鷹二

同

同

上使酒井老岐守

甲府中将殿

上使本多備前守

尾張中将殿

上使石川市正

紀伊中将殿

右以 上使被遣之

御番入被 仰付面々

田中大隅守組三人

三枝摂津守組三人

堀田對馬守組三人

小左衛門男

永井小十郎

六左衛門男

久保田六左衛門

八郎五郎男

岡部小次郎

右は參勤之処病氣ニ付以使者進上之

右は御右筆江被 仰付之

右は參勤之処病氣ニ付以使者進上之

右は帰國為御礼使者を以て進上之

孫右衛門男

曾雌市之丞

丹羽左京大夫使者

大谷市十郎

松平相模守使者

佐分利九之丞

柳營日次記

延寶六 戊午年

六月

朔日雨

例月のごとく諸大名出仕御礼有之

從京都參府之御礼

牧野摂津守

朽木和泉守

御宮 兩御佛殿へ熟瓜御進献之

松平相模守 使者

二日晴 無事

保科是則

右は頃日卒去之由

三日晴 土用入

酒井雅楽頭

右於 御前拝領之

水野数馬

右被 仰付之

朽木和泉守

右組中引渡有之

石清水八幡宮為放生會料現米百石被下之近年依微力放生

會執行謹勤旨付田中善法寺新善法寺へ被下之

四日晴

於評定所式日寄合土屋但馬守

從勢州山田次飛脚去朔日為 御名代内藤上野介參拜之由

注進之

五日無事

六日朝小雨

御一門方國持大名 兩本願寺役者殿中 招之去端午之御

内書被相渡之時服如例使者被下之

牧野因幡守

右願之通弟村越伊豫守伴養子被 仰付之

西丸 渡御 山里馬場 乘馬 上覽水野長門守組石川市正組

七日朝小雨

銀十枚

御暇

八日晴

京都帰

右於 御座之間 御目見

右到着 上使被遣之

九日晴

已刻御黒書院 出御

御息女上秋彈正大弼 婚姻之御礼

紀伊中将殿

右は為名代御息中将殿出仕也

婚姻御礼

上秋彈正大弼

紀伊殿簾中

上秋彈正大弼内室

參勤之御礼

水野隼人正

松平市正

大関信濃守

小笠原備後守

本堂源七

山崎勘解由

初御礼

右衛門大夫惣領

水野織部

惣領成之御礼

山城守一男

土岐伊豫守

繼目之御礼

黄金十枚

時服五

時服十

御暇

同二十

同

大坂加番御暇

時服四

羽折

時服五

羽折

同折

田村右京大夫

丹羽若狭守

浅野式部少輔

堀 左京亮

三宅能登守

酒井石見守

本多弾正少弼

三宅摂津守

水野周防守

両組頭八人

両組 中

田村隠岐守

勢州帰

内藤上野介

右 御目見

帰国之御礼

松平出羽守使者

戸賀源右左衛門

右以 使者進上之

十一日晴

上使酒井雅楽頭

吉良上野介差添

知恩院御門跡

院家

院

院

院

院

院

院

院

院

院

院

大御番永井伊豫守組頭
紅林甚左衛門跡^江

右之通被 仰付之

在所帰御礼

三種二衛

右使者を以て進上之

時服三

松平出羽守使者
戸賀源太左衛門

脇坂中務少輔

有馬周防守^江

右は昨日祝言相済

十二日 晴夜甚雨

於評定所式日寄合久世大和守出座

稲葉美濃守

右は去^ル六日京都^江着同七日院參

十三日 晴

御黒書院 出御

知恩院御門跡

右は御暇之為御礼登 城 則 御對顔次^二

増上寺方丈 註雄

御門跡家来四人

院首
覚了院
岩波少進
齒民部卿
梅嶋頼母
角田伊織

右登 城 御目見次^二

參勤之御礼

松平下総守

内藤左京亮

本多長門守

菅沼主水

本多一學

御暇之面々

本多下野守

真田伊豆守

(時服十羽折
御馬老疋
時服十
羽折)

同断

(銀百枚
時服十)

時服十

時服五

御暇

箱者

宇治掃

原田利齋

秋本忠恵

戸田左門

右は 女院御所為御療治可被遣之旨被 仰渡之

時服式十

御暇

奥 甲府殿^ハ雲雀献上之

十四日 曇雨

嵐鷹

右は昨日 上使をもつて被遣之被為御礼今日登 城也

綸子三十卷
丁子五十斤

右被遣之

二種老荷
繙珠十卷

右は使者野崎新兵衛を以て進上之

奥 松平但馬守病牀を被為間 上使松平内匠頭

十五日 晴風

山王祭礼為 上覽菱矢倉^江 渡御也

御目付式人 川口藤左衛門 御徒頭六組組共 曾我權之丞

十六日 晴

辰后刻大廣間 渡御嘉祥御祝儀有之着座之面々

御刀 米津周防守

松平左京大夫

松平陸奥守

松平三河守

織田山城守

松平伯耆守

岡部内膳正

龜井能登守

諏訪因幡守

安藤帶刀

御暇

紀伊殿家老

松波五郎右衛門

上使同部總被守
水戸少将殿

上使大政右京大夫

知恩院御門跡

帰国御礼

藤堂和泉守

次^二出座之面々

佐竹右京大夫

松平安藝守

松平越前守

上秋彈正大弼

酒井雅樂頭

吉良上野介

松平刑部大輔

松平播磨守

井伊玄蕃頭

松平下総守

大澤右京大夫

久世大和守

土屋但馬守

酒井河内守

島山下総守

上秋伊勢守

立花飛騨守

松平肥前守

松平隱岐守

大久保加賀守

右老人宛御餅頂戴畢^而榑原式部大輔始諸大名式人三人宛

出座此外諸番頭諸物頭寄合諸役人等如例年頂戴都合七百

拾三人也

本多能登守

右願之通在所^江御暇被下旨同氏淡路守^江老中傳之

十七日 晴時々小雨

紅葉山

御名代

久世大和守

日光御目付代
渡邊久助

右被 仰付之

一 青山因幡守大坂御城代御役御免之旨京都稲葉美濃守方^江

被 仰遣之因幡守被申渡之段申来^ル

十八日 雨已刻々止晴

已刻御黒書院 出御

參勤之御礼

(金馬代 時服十) 松平丹波守
(銀馬代 時服十) 内藤右近大夫
(瓶燭三箱) 御暇之面々

病後御礼
紀 伊 殿

(時服十) 本多越前守
(羽折) 内藤紀伊守
(時服六) 鳥居左京亮
(羽折) 松平伊賀守

(時服五) 堀 周防守
(羽折) 松平佐渡守
(時服五) 細川豊前守

(時服四) 遠山主殿頭
(羽折) 前田右近大夫

(時服三) 最上刑部
(羽折) 松平志摩守

京都江御暇

女院御氣色付
(金武枚) 杵本忠恵
(時ふく武) 市部伊兵衛

右は去頃巢鷹被遣候為御礼使者被差上之
在所參着御礼
伊達達江守使者
櫻田齋宮

(一種老荷) 大久保加賀守
(純子五卷) 衛門妻死

右は從弟差合登 城無之是、松平和泉守家来水野与三右衛門妻死

十九日 御座之間
大阪御城代 太田摂津守
青山因幡守 前嶋勘三郎

右之通被 仰付之則二万石御加増都合五萬式千石_二成
前嶋勘三郎

右は御書院番江入番被 仰付之

時服三 御暇
同断 市野部伊兵衛
同断 尾張使者
同断 藤室和泉守使者
同断 野崎新平
同断 伊達達江守使者
同断 櫻田齋宮
同断 大久保加賀守

右は忌 御免登 城

廿日晴

女院御所去、十五日未刻崩御之由昨晚申来依之御一門方諸大名寄合諸番頭諸物頭諸役人登 城謁老中退去

京都江御使

右可被遣之旨被 仰付

東叡山 御名代 但馬守

廿一日晴

昨日之通御一門方諸大名諸役人等登 城謁老中退去明日登 城_二不及之旨申渡之

土屋但馬守

右は孫之差合登 城無之同氏相模守娘死去也

廿二日晴

為伺 御機嫌從御一門方国持大名使者被差上之且又諸衆諸役人等登 城也
明日、御機嫌何無用之由達之

廿三日

為伺 御機嫌從御三人方使者被差上之

京都江御暇

(黄金十枚) 畠山下総守
(時服三) 五味藤九郎
(黄金十枚) 上方御代官
(時服武) 土屋但馬守

(黄金十枚) 御免登 城也

大坂御番代之面々登 城謁老堀左京亮酒井石見守本多彈正忠也

廿四日 曇折々小雨

増上寺 御名代無之

水戸殿

紀伊中將殿

右登 城是、明日より御精進被為揚候様にと御願之処
明日、魚類御料理可被召上旨被 仰出之
一甲府富林内殿其外御一門方より以使者御機嫌被伺之

廿五日 雨

女院御所覽御_二付_一到来之使者御暇
(時服四) 御暇 尾張使者
(羽折) 竹腰阿波守
(同武) 松平出雲守使者
(羽折) 川澄三郎右衛門
御暇 松平阿波守

右は於國元氣色以外、付蜂須賀飛騨守願之通御暇被下之

一 松平因幡守幼少之息死す

廿六日 曇

日光掃

駒井次郎左衛門

右登 城也

廿七日 晴

(大刀目錄) 圓満院新門跡
(巻物三) 御等無住_一付_一新院_一官御機嫌御礼也
右後住之御礼として以使者進上之
中西主之介

二種老荷 東本願寺

右は弟養子被 仰出為御礼以使者進上之
栗津勝兵衛

(一種老荷) 帰国之御礼
(虎皮三枚) 宗 對馬守
(豆粉一箱) (口縁の裏体手)

右は以使者進上之

一 越前大野城主從四位下侍從松平但馬守源直富朝臣昨日卒去行年七拾五歳是故越前中納言秀康卿之五男也依之息若

狹守^江為 上使秋元撰津守被遣之

京都^江御使

御目付
川口源左衛門

延宝六年六月廿八日

東福門院御法事^三付御香奠献上覺

五万石ノ九万九千石迄

銀五枚

拾万石ノ拾九万石迄

銀拾枚

貳拾万石ノ三拾九万石迄

銀貳拾枚

四拾万石以上は

銀三拾枚

拾万石以上之嫡子

銀三枚

三拾万石以上之嫡子

銀五枚

銀拾枚

甲府中將殿

銀拾枚

尾張中將殿

銀拾枚

紀伊中將殿

銀五枚

水戸少將殿

銀式拾枚

千代姫君御方

同御香奠献上次第

松平左京大夫

銀三枚

松平刑部大輔

〃

松平播磨守

〃

宗 對馬守

〃

織田山城守

〃

毛利甲斐守

銀式枚

織田内記

〃

松平豊後守

銀三枚

松平大学頭

〃

丹羽若狹守

〃

織田伊豆守

〃

松平撰津守

〃

松平出雲守

〃

松平新太郎

〃

松平紀伊守

〃

松平源英

〃

森 内記

〃

松平兵部大輔

〃

〃

廿九日 晴

例年之ごとく土御門より名越御祓調進之

土御門極蔭名越之御祓如例年調進之雖然依為御忌中召弘

文院古例今考之処御忌中御祓之旧例無之因茲御頂戴無之御

祓具納之

京都^江御暇

黄金三枚
時服三
羽折

川口源左衛門

右之通被下之

時服二

御暇

鈴木市之進

右被下之

神社奉行^三仙石因幡守長田六左衛門へ輕罪之輩可赦免旨被

仰出是 東福門院来月御法事^二付^也

右は妻今朝男子平産之由

一東福門院殿従来月三日於京都般若舟院御法事御執行付輕罪之

輩可赦之旨諸因以繼飛脚被仰遣

右被下之
時服三
羽折

御暇

尾張殿使者
山内次大夫

右被下之

酒井河内守

隠居之面々献上

銀五枚